

館林市指定重要無形民俗文化財

おおしまおかぎとかみよかぐら

「大島岡里神代神楽」

毎年4月、大島地区春の歩け歩け大会の終点で、大島岡里神楽を見ることができます。これは、館林市が指定した2つの「宝物」の1つです。（もう一つは七小地区の「上三木のささら」）「無形民俗文化財」というのは、建物のようにそこに行けばいつでもみられる物ではなく、だれかがやらなければ見ることができないおどりなどのことです。大島岡里神楽は、岡里地区の人たちが100年以上もの長い間守り続けてきた、宝物です。

1, 大島岡里神楽はいつ、どこから来たの？

- 江戸時代に飯田（今の栃木県佐野市）より伝えられたと言われ、飯田地区の神主によって演じられていましたが、明治時代のはじめ、地域の人に受けつがれ、民間芸能として定着したものです。
- 飯田の戸ヶ崎さんという神主が先生となって教えてくれたので、「戸ヶ崎流」とよばれています。
- 戸ヶ崎流の特徴は、神前に向かって、右から出て右に引っ込むという動きをすることです。ふつうは逆の動きなのだとか…。

2, 大島岡里神楽にはどんなおどりがあるの？

- 12種類のおどりがあります。
 - ①へいまいしきしゃ…お面を付けずにおどります。舞台全体をお清めする意味をもつおどりとして7分くらいおどります。
 - ②おきな…おじいさんの面をつけて、お年寄りらしく静かにおどります。お年寄りを大切にし、長生きをお願いするものとして10分くらいおどります。
 - ③こやね…「アメノコヤネノミコト」という神話に出てくる神様の面を付けて、刀を持っておどります。「刀を大切にしてください」という意味を持ったおどりで10分くらいおどります。

※アメノコヤネノミコト(天児屋根命)とは？

天岩戸にかくれたアマテラスオオミカミをよびもどすために、作戦を占い、作戦実行時には神々の国の美しい言葉をささげた神。あの中臣鎌足のご先祖だって。

- ④ふとだま…「フトダマノミコト」という神話に出てくる神様の面を付けて、やりを持っておどります。武器の使い方を教えるおどりで、10分くらいおどります。

※フトダマノミコト(太玉命)とは？

アメノコヤネノミコトと一緒に、「アマテラスオオミカミよびもどし作戦」を考え、

作戦実行時には、天岩戸から顔を出したアマテラスオオミカミに鏡を差し出したといひます。

- ⑤うずめ…「アメノウズメノミコト」という神話に出てくる神様の面を付けて娘らしさを強調して8分くらいおどります。

※アメノウズメノミコト(天鈿女命)とは？

上品で美しいおどりをおどって、アマテラスオオミカミが天岩戸の中から顔を出すのをねらった神様。芸能・芸術の神様なので、超一流と言われる名俳優から、売れっ子のアーティストや女優からも人気を集めています。

- ⑥戸がくし…「タヂカラオノミコト」と「アマテラスオオミカミ」の面を付けて、おどります。⑤のウズメのおどりに気を引かれたアマテラスオオミカミが天岩戸からちょっと顔を出したすきに、タヂカラオノミコトに岩戸を外されてしまい、仕方なく外に出てくる、という神話を再現します。20分くらいおどります。

※タヂカラオノミコト(手力男命)とは

その名の通り「手の力の強い神様」であり、力の神、スポーツの神として信仰されています。

※アマテラスオオミカミ(天照大神)とは

太陽の神として高天原(神の国)を治める神様。太陽の神なので、「天岩戸ひきこもり事件」の時には、世界が真っ暗闇になりました。つまり、皆既日食が起こってしまったのです。そして、多くの災いが起こり世界の秩序はどんどん乱れていったと神話には書いてあります。

- ⑦天狗…てんぐの面をつけてやりを持っておどります。悪霊をやっつけて農作物の豊作をお願いするものとして10分くらいおどります。

- ⑧金山…「カナヤマヒコノミコト」と「ひょっとこ」の面をつけて、刀づくりの動作をしながら楽しく20分くらいおどります。

※カナヤマヒコノミコト(金山彦命)とは

鉾山の神さまであるとともに、刀や農具などの金属製品を作る仕事の神様です。

※ひょっとこ(火男)とは

かまどの神様。神楽の中ではピエロ役として登場する。東北地方の昔話によると…

むかしむかし、山にしばかりに言ったおじいさんが、神様から、「ひょうとく」というみにくい顔の子どもをいただいたんだと。おじいさんはとてもこの子がかわいがったんだと。ある日この子がへそから黄金を出しそのおかげでおじいさんはお金持ちになったんだ。ところがある日、おばあさんが「もっともっと黄金を出せ」といって、へそを火ばしでつついてしまったんだと。かわいそうにその子は死んでしまい、おじいさんは悲しみました。すると、夢の中で、その子が「自分に似た面を作りかまどの前にかけておけば、この家はお金持ちになるよ」と言いました。その通りにすると、いつまでもお金持ちでいられたんだとさ。

- ⑨えびす…七福神の一人「えびす」の面をつけて、つりざおとせんすを持っておどります。つり好きなえびす様がタイをつりあげ豊漁を祝うというお話で25分くらいおどります。と中、エサに見立てたモチをつり糸にしばりつけ、さおを舞台の前に置きます。観客の一人がモチをとり、代わりにお金をつ

けます。時にはたくさんエサ(モチ)を巻いて、魚(観客)をひきつけます。これを何回か繰り返し、最後はタイがつれて喜んで帰っていくという流れです。



「えびす」につられる未来のタイたち

- ⑩大黒…七福神の一人「大黒」の面をつけて、「打ち出の小づち」を持っておどります。打ち出の小づちを打つとお金(もち)が出て、それを観客に分けてあげるといいう流れです。15分くらいおどります。
- ⑪きつね(いなり)…「いなり様」と「きつね」の面をつけて、おどります。「きつね」の面をつけた人は農具を持って畑を耕し、種をまく動きをします。この時、観客にモチを投げます。10分くらいのおどりです。

※いなり様とは?キツネとの関係は?

いなり様は正式名「倉稲魂命(うかのみたまのみこと)」といい、穀物の女神です。キツネは、いなり様の使いです。大昔、人々は、キツネを神聖な動物として考えていました。それは、キツネが農作業が始まる春先から秋のしゅうかく期にかけて里に姿を現すので、農作業を見守る「守り神」のように考えられていたからという説があります。

- ⑫山神…「山神様」の面をつけておどります。おどりながらありったけのモチを観客にまきます。約5分のおどりです。

※山神様とは

農民の間では、春になると山の神が、山から降りてきて田の神となり、秋には再び山に戻るという考え方があります。日本では死者は山中のあの世に行って祖霊となり子孫を見守るといいう考え方があるので、農民にとっての山の神の正体は「ご先祖様の霊」であるという説が有力だそうです。ということは、「神様だけでなく、ご先祖様も幸せをもってきてくれるよ。」ということをお伝えしたいのかな?!

ここで神様全員集合! 児屋根命様は出張中でした。



- ⑧ 金山 ⑩ 大黒 ⑧ 火男 ⑦ 天狗 ② 翁 ⑪ きつね
 ⑨ えびす ⑥ 手力男命 ⑤ 鈿女 ④ 太玉命 ⑫ 山神

3, 大島岡里神楽はどのようにして守られてきたの？

現在、市内でも神楽を見るチャンスはほぼなくなりつつありますが、大島岡里神楽は生き残っています。どのようにして守られてきたのでしょうか。

ヒミツ(1) 複数の神社で神楽をやっているから

大島神社だけでなく、板倉町の西丘神社や高鳥天満宮でもおどっています。

ヒミツ(2) 地域の行事の時に合わせてやっているから

右の写真は「大島地区歩け歩け大会」のゴール地点となった大島神社での様子。こんなにたくさんの方が神楽を見えています。



ヒミツ(3) だれでも「敬神講」に入会できるから

岡里神楽を伝承している集団「敬神講」にはだれでも入会できるようです。以前は岡里地区の人という限定はありましたが、今は、他の地区の人も入っています。本気で岡里神楽を守っていきたくて願う人が入れる、というのは強いですね。

ヒミツ(4) セミプロ芸能集団としての自覚があるから

入会すると、楽器より先におどりを覚えるそうです。おどりも簡単なものからだんだんに難しいものへと進んでいくようです。

楽器の場合は、太鼓→大拍子(つづみ)→笛の順で、進むようです。ちなみに神楽の運命を決めるのは笛をふける人がいるかだそうで、岡里神楽を伝えてくれた佐野市飯田の神楽は、「笛をふく人がなくなった」ことが原因で無くなってしまったそうです。

どうしたら令和の時代に岡里神楽を残せるのかな？



2020年の神楽学習会の様子。笛に挑戦。



お面や道具に触れることで興味がわく。



2012年の神楽の学習会の様子。



四小の体育館でまた神楽を見たいね。